

# 富山県並行在来線会社（三セク会社）への出資について

平成24年1月  
富山県総合交通政策室

## 1 出資額

- ・ 出資額は、先行事例や総務省の類似の通知（H8.12.20 地方公営企業に準じる第三セクターによる貨物線旅客線化事業）等を参考に、初期投資額の20%を目安とする。
- ・ 平成24年夏頃に予定している準備会社への出資は、開業準備費に相当する額（15億円）とする。
- ・ 平成25年度に、JR西日本との交渉等を踏まえ、初期投資額を確定のうえ出資総額を決定し、所用額を増資する。

## 2 出資者

本県の並行在来線は、県内を東西に走る幹線鉄道であり、城端線、氷見線、高山線、富山地方鉄道線のほか、ライトレール、万葉線、路線バスが結節するなど、県内の公共交通機関のネットワークの結節拠点となっており、また、駅周辺の駐車場の利用によるパークアンドライドなど、多くの県民の日常生活の足となっている。

こうしたことから、三セク会社は、県、市町村、民間がみんなで負担していくことや、マイルール意識を持ってもらうため県内全体で支えていくこととし、県、市町村（非沿線市町村も含め全市町村）、民間企業が出資する。

## 3 出資比率

- ・ 県・市町村・民間の出資比率は、63：27：10とする。
- ・ 各市町村の出資比率は、市町村間での協議結果を踏まえ、別紙1のとおりとする。
- ・ 民間の出資は、経済団体等の協力を得て、県内企業を中心に出資を募る。

## 4 準備会社への出資額

上記を踏まえ、準備会社への出資額は、別紙2のとおりとする。

## 富山県並行在来線会社 市町村出資比率

平成24年1月  
富山県

富山県並行在来線の第三セクター会社に係る市町村別の出資比率については、市町村間での協議結果を踏まえ、次のとおりお願いする。

(考え方)

- ・標準財政規模(1/2)、人口(1/2)
- ・並行在来線の駅数で調整(非沿線、新幹線との結節性を考慮)

単位：%

区分	市町村名	出資比率
沿線	朝日町	1.4
	入善町	2.4
	黒部市	4.2
	魚津市	3.1
	滑川市	2.7
	富山市	51.7
	射水市	7.7
	高岡市	18.1
	小矢部市	2.3
非沿線	砺波市	1.4
	南砺市	1.9
	氷見市	1.5
	上市町	0.7
	立山町	0.8
	舟橋村	0.1
計		100.0

## 富山県並行在来線の準備会社への出資金額

単位：千円

区 分	金 額	比 率
富山県	945,000	63%
市 町 村	朝日町	6,000
	入善町	10,000
	黒部市	17,000
	魚津市	12,000
	滑川市	11,000
	富山市	206,000
	射水市	31,000
	高岡市	72,000
	小矢部市	9,000
	砺波市	6,000
	南砺市	8,000
	氷見市	6,000
	上市町	3,000
	立山町	3,000
	舟橋村	0
計	400,000	27%
民間企業	155,000	10%
合 計	1,500,000	100%

備考：民間企業の出資者は調整中  
金額は百万円単位で四捨五入